

日本歯科医学教育学会で昭和大学が存在感を示しました  
高齢者歯科学講座 佐藤裕二

6月30日から7月2日にわたり、大阪大学吹田キャンパスで第35回日本歯科医学教育学会学術大会が開催されました。本学から常任理事2名、理事2名と監事を出しており、口演発表2題、ポスター発表8題でした。「文部科学省 大学間連携共同教育推進事業：ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」の交付を受けて実施した演題で、片岡竜太先生が「教育システム開発賞」を受賞されました。また、3大学（北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学）の学生間交流に関しては、学生たちが発表しました。

教育における昭和大学の存在感をアピールできた学会でした。1日の夜には、宮崎学部長を交えて、3大学交流の懇親会を行い、受賞を祝うと共に、学生を含めた発表者の慰労を行い、さらなる邁進を誓い合いました。

